

南海トラフ地震臨時情報

災害対策本部の設置
 【参集メンバー】
 ◎学校長、教頭、事務部長、事務担当、教務主任、生徒指導部長、保健厚生部長、保健厚生部防災担当

↑ ↓

【情報収集】
 < 総括、教育委員会、近隣学校等との連絡 >
 →担当: 教頭、事務部長
 < TV、ラジオ、Webからの情報収集 >
 →担当: 教務主任
 < 気象台、市町村防災部局からの情報収集 >
 →担当: 保健厚生部長、保健厚生部防災担当
 < 交通機関、道路情報 >
 →担当: 生徒指導部長

	M8.0以上の地震	M7.0以上の地震 ゆっくりすべり
	巨大地震警戒	巨大地震注意
登校前	登校 ※後発地震に注意した行動を生徒に周知	登校 ※後発地震に注意した行動を生徒に周知
在校時	通常授業 ※学校内でのみ	通常授業 ※学校内でのみ
登校(下校)途中	登校(下校) ※後発地震に注意した行動を生徒に周知	登校(下校) ※後発地震に注意した行動を生徒に周知

【通常授業を行う場合の留意点】
 ①安全を確保できる場所に待機を原則とする生徒
 ・土砂災害特別警戒区域に居住
 ・耐震性の不足する住宅に居住
 ②避難所等、待機場所からの登校の可否については校長が判断する

状況に応じて、教育長が休業を決定する場合がある。その際は安全を確認した上で、自宅又は安全を確保できる場所に向けて下校する。自宅等の安全が確認できない場合は、学校待機とする

緊急地震速報

【受信体制】
 ○受信装置(FM回線自動放送)
 ○NHK等の公共放送にて受信(事務室)

【緊急地震速報(受信時～地震発生時)の対応】
 ・直ちに身の安全確保(低い姿勢、頭、首の保護)
 ・シェイクアウトを徹底する
 ※落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所で身を守る
 ・出入口の確保を行う
 ・大きな揺れ及びガラス飛散には十分に注意する

【大きな揺れがおさまり次第直ちに避難】
 ・落下物、飛散物、転倒物等に注意し、避難・避難誘導する
 ・できる限り、安全な避難経路を通り、避難場所へ避難・避難誘導する
 ・可能な限りヘルメットを着用し、慌てず避難・避難誘導する
 ・「おはしもち」の約束に従って、避難・避難場所へ誘導する
 ・大きな揺れ及びガラス飛散には十分に注意する
 <放送での指示が可能な場合>
 放送:「生徒・職員は、安全に留意し●●へ避難してください」